

	学校だより 令和6年3月 No.13
	学校教育目標 ○あたたかい心 ○よりかしこく ○よりたくましく

## 発達障害？ その前に生活の見直しを

校長 戸村達男

書店の教育書コーナーに行くと、「発達障害」に関する本が数多く並んでいます。発達障害を解説する趣旨の本や、マンガで分かりやすく描いた本、大人の発達障害をテーマとした本・・・など、こんなにたくさん並ぶようになったのはここ数年のことですね。

およそ1年前（2022.12.13）に、さまざまな新聞やTV番組で、「文部科学省の調査によると、小中学生の8.8%に発達障害の可能性」「クラスに3人は発達障害の子がいる」のような記事や特集が出たことも、この傾向に拍車をかけたのかもしれませんが。

実はこの調査、文部科学省は、  
**小・中学校で「学習面または行動面で著しい困難を示す」とされた児童の割合 8.8%**  
と発表していました。

「発達障害の可能性8.8%」というのと、「学習面・行動面で著しい困難を示す児童8.8%」というのでは、ニュアンスがだいぶ違うように思います。発達障害の可能性8.8%だと、将来的にもその8.8%が継続するかのような、一生発達障害と向き合っていかなければならないような印象を受けてしまいますが、これはあくまで「現時点で」学習や生活に困っている児童が8.8%いるというお話。発達障害のお子さんが8.8%いるなんて、この調査では言っていないのです。

子どもは発達途上です。学習面でできないことがあっても当たり前、大人が期待するように上手に行動できなくても当たり前。成長過程、伸びしろいっぱい存在です。発達障害と決めつけるのではなく、何に困っているのかを感じとり、適切に支援していきたい、そう思います。

一方で、教室の中で、「学習面または行動面で著しい困難を示す」お子さんが増えてきているということも、私たち教職員の実感です。

その原因はどこにあるのか。どうして学習や生活面で学校生活に適應することが難しいお子さんが増えてきているのか。

文教大学の成田奈緒子教授は『発達障害』と間違われる子どもたち』（青春出版社）という著書の中で、子どもたちの健全な育ちには「生活改善」が大切とおっしゃっています。

生活改善・・・①朝日を浴びる ②十分に眠る ③規則正しい時間に食べる  
いわゆる「規則正しい生活」です。このことによって、脳が育ち、発達障害を疑われるような状況が改善していくことがある、と著しています。

確かに、生活のリズムが乱れ、十分な睡眠がとれないまま、朝ギリギリで起きて、朝ごはんを食べずに学校に来るお子さんは、ものすごくイライラしていたり、魂が抜けたように、ぼうっとしていたりします。学習にも集中できないので学力も低下していきます。こ

の状態は、「発達障害の可能性あり」と診断されてしまうかもしれない、あやうい状態です。  
大人なら、朝ごはんを食べなくても、多少寝不足でも、理性でカバーできますが、理性が十分育っていない子どもたちにとって規則正しい生活は、非常に大切なものです。  
生活リズムが乱れがちなのが多いということが、「学習面または行動面で著しい困難を示す」お子さんが増えてきている要因の一つかもしれません。

もう一点、私が気になるのがスマホとの距離感、特に「スマホ子守」には、非常に危機感を感じます。

3歳くらいの子がベビーカーの上でスマホを操作し集中している姿。電車に乗っている小学生くらいの親子がそれぞれスマホに見入っている姿。見かけるたびに、「大丈夫だよ。今だけだよ。いつもじゃないよ。」と思わず祈ってしまいます。スマホに子守をさせていたら、その時期に育つべき五感、感性、情感は育たないんじゃないかなと心配になります。もちろん、スマホの使用すべてがダメというわけではありません。が、誤解を恐れず言わせていただくと、ふだん大人の都合でスマホに子守をさせておきながら、「うちの子、スマホばかりで困っています。」「スマホをやめるように言っても、言うこと聞きません。」は、ちょっと都合がよすぎかなと思うのです。

はっきりとしたエビデンスがあるわけではありませんが、スマホの普及と「学習面または行動面で著しい困難を示す」お子さんの増加、時期はピタリ重なっています。日本小児科医会・日本産婦人科医会は、「スマホに子守りをさせないで」というポスターを作って、スマホ子守に警鐘を鳴らしています。「学習面または行動面で著しい困難を示す」お子さんが増えてきている理由にスマホとの距離が関係しているのではと思う教育関係者は私だけではないと思います。

スマホとの距離感、せめて小学生までは大人が適切に管理すべきと思うのですが、いかがでしょう。



もうすぐ春です

## 来年度の所沢小学校

### ●表現タイムを、正式に導入します

所沢小学校では、2022.1 から、子どもたちの思考力・表現力を高める目的で、「表現タイム」を試行してまいりました。朝自習の15分間、与えられたテーマで、自分の考えを作文にするという活動です。

テーマは「ドラえもんキャラクターで一番好きなのは誰ですか。理由も教えてください」という親しみやすいものから、「勉強はなぜ必要なのですか」という哲学的なものまでさまざま。低学年は100文字、高学年は200文字を目安とします。

来年度はこの時間を年間18回、学校全体で正式に実施します。そしてこの時間を国語の時間として授業時数にカウント、子どもたちの学力のさらなる向上につなげていきます。

来年度はこの時間を年間18回、学校全体で正式に実施します。そしてこの時間を国語の時間として授業時数にカウント、子どもたちの学力のさらなる向上につなげていきます。

### ●日課表を変更します。

1年生 : はじめは4時間授業 5/20から5時間開始 年間木曜日4時間

2年生 : 年間火曜日は6時間 木曜日は4時間

3・4年生 : 1学期は月曜日6時間 2・3学期から月曜日5時間

5・6年生 : 1・2学期は月曜日6時間 3学期から月曜日5時間

※来年度の年間行事計画をHPにアップしました。現時点でのものであり、変更があることをご了解ください。